

胆道がんにおける HER2 発現に関する研究

1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院で、1962 年から 2025 年 3 月 31 日の間に、外科的切除、生検をされた患者さんの中で解析時に包括的同意が得られている患者さんを対象にします。診療に用いた後の組織検体の残りや病理診断情報を含む診療録などの診療情報を用います。

2. 研究目的・方法

胆道がんは、死因の上位を占める治療の難しいがんです。胆道がんに対する診断法・治療法は、より良いものが次々に開発されてきましたが、現在のところは、いまだ、根治が期待しにくい代表的な難治性がんであります。これらのがんには多彩な特徴を持ついろいろな種類のがんがひとまとめにされている現状があります。多くの患者さんの情報を集め、分子病理学的・臨床病理学的な検討を行って多彩な特徴を理解することは、正確な診断、予後の予測あるいは新しい治療法の開発に役立つと考えられます。

本研究では既に分子標的薬の実績のある HER2 分子の発現について胆道がんの詳細に調べ、正確な病理診断、予後予測の指標あるいは新たな治療の開発に役立つ知見の探索を行います。海外企業との共同研究で一部の解析を行います。

診療に用いた後の組織検体や診療録などの診療情報を用いて、がんの特性を臨床病理学および分子病理学的に検討します。

研究実施期間：10 年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：診療後の手術で摘出した残余組織検体、血液 等

情報：病歴、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号 等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

共同研究機関との試料・資料・情報提供の際は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。試料の輸送は紛失リスクを最小化するために、輸送時に随時追跡可能であり、受け取り側の授受の確認が可能である、輸送方法を選択する。情報は電子的配信等をとることがある。

データの解析結果を論文としてしかるべき医学雑誌での公表、学会発表を実施します。

5. 研究組織

国立がん研究センター 平岡伸介

Ventana Medical Systems, Inc. Hiroaki Nitta

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科 平岡伸介
〒104-0045 中央区築地 5-1-1
TEL 03-3542-2511/ FAX 03-3543-5073

研究責任者：

国立がん研究センター中央病院 病理・臨床検査科 平岡伸介